

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第４回たかまつ創生総合戦略懇談会
日 時	平成２７年９月２５日（金）１８時３０分～１９時１０分
開催場所	高松市役所　１３階　大会議室
議 題	(１) たかまつ創生総合戦略（仮称）の検討について (２) その他
公開の区分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開
上記理由	
出席委員 (１９名)	佃会長、野田副会長、上田委員、上原委員、国見委員、 桑井委員、坂口委員、鈴木委員、高嶋委員、滝川委員、 竹内委員、中橋委員、西岡委員、花澤委員、原委員、古 川委員、眞鍋委員、柳委員、頼富委員
傍 聴 者	３人 (定員１０人)
担当課及び連絡先	政策課 ８３９-２１３５

会議の経過及び結果

(１) たかまつ創生総合戦略（仮称）の検討について

事務局から、たかまつ創生総合戦略（仮称）の事業案及び重要業績評価指標（ＫＰＩ）等について、資料を基に説明し、委員から意見や質問等をいただく。

(委員)

空き家の有効活用について取り上げられているが、空き家が非常にリスクの高い状態になっている。空き家対策として、空き家の有効活用に加え、空き家の管理を行っていただきたい。

(委員)

重要業績評価指標（ＫＰＩ）として「創業者数」とあり、指標の説明として「高松市創業支援事業計画に掲載された各連携機関から支援を受け創業した事業数」とあるが、高松市創業支援事業計画は策定するのか。

(事務局)

現在、高松市創業支援事業計画を策定中である。

(委員)

ＫＰＩをこのように設定することについて疑問を感じる。戦略をブレークダウンしたところにＫＰＩを設けている。政策が総合的に効果をもたらすためには、相乗効果を発揮することが必要ではないか。例えば芸術について、現在、イベントを中心に成果を挙げているが、教育とも関連させることで、様々な才能を磨け、定住促進など、外から来る人にアピールできるポイントになる。

会議の経過及び結果

更にアートは、産業化し、産業面で雇用を生むところに持っていくことはできないかなど、アート1つとっても、様々な分野に生かしていける。

ブレークダウンしてそれぞれの施策にK P I を設けるという発想だけでなく、施策を束ね、統合的な高松のイメージを作るところまで考えてK P I を設けると良いのではないか。

戦略をブレークダウンするだけでなく、戦略が重なる部分に具体的な取組が見えてくるのではないか。統合的に連携して取り組むことで、縦割り行政の弊害を克服するため、市が先進的な取組をしていると明示できて良いのではないか。

(会長)

総合戦略ということで、いろんな意味での総合化が大切である。いろんなグループが一つとなり目標達成を目指すことが大切で、すぐに反映することは難しいが、今後、いろいろな立場の人が協働し、目標設定できる機会があると良い。

(委員)

公園都市整備について気になる部分がある。子育て世代から、身近な公園がどこにあるのか、また、どんな施設があるのかが分からない。市において、情報を整理し市民に向けて発信することで、公園が利用しやすくなると思う。

(会長)

すぐにできる話であり、子育て世代の支援につながるものである。

次回に目標設定などを整理したものが出てくるので、懇談会の意見としては、これで集約させていただく。

(事務局)

K P I についていただいたご意見について、最近の施策、事業は複合的な要素を持っており、どのような目標を設定し管理するかが難しい。目標管理は行政では普通のこととなっているが、成果を図る指標の設定が難しいのが実情である。

ご意見の趣旨は理解できるが、具体的にどのように対応するか、時間がないが、ぎりぎりまで検討したい。

また、現在、市でも公共施設の機能も含めたユニバーサルデザインマップの作成の必要性を感じている。どこに施設があるかだけではなく、有する機能の表示、多言語化などもユニバーサル的な発想による情報提供を今後の課題と考えている。

(2) その他

(事務局)

今後のスケジュールについて、懇談会は今回で終了するが、原案を10月10日に報告し、10月31日の審議会において最終の計画を報告したい。

(閉会)